

代表質疑・質問



小児へのワクチンは？ 教育は？方針を問う！



湖南 WAKU² プロジェクト ● 中土 翔太 議員

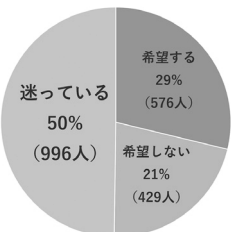
5～11歳へのコロナウイルスワクチン接種について

問 医師である市長の見解は。

答 合併症をお持ちの小児は接種してくださいとしか言えません。

問 保護者は迷っている。リスクと利益が比較でき、接種の判断材料となる分かりやすい情報提供が必要では。

答 現在出ている情報以上はありません。保護者の責任で判断していただきたいです。

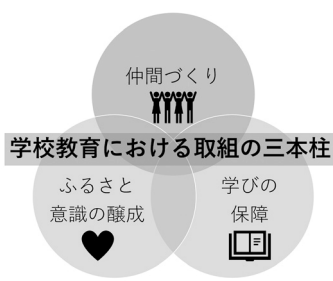


市内小学校の1～5年生の保護者を対象に実施された接種希望調査では約半数が「迷っている」と回答

問 学校教育における取り組みの三本柱について
問 教育方針において「仲間づくり」を一番に

掲げられているが、そのねらいは。

答 子どもたちに大切なことは、周囲の人に発信する力・協働しながら取り組む力・合意形成を図る力であると考え、仲間づくりを中核に据えました。最も大事にしたところです。



問 「学力保障」から「学びの保障」に変更したねらいは。

答 学力と進路を保障するのではなく、主体的に学習する子・他者との対話を通じて自らの学びを自覚する子ども、人権教育を土台とした学びを大切にしたいため変更しました。



ウィズコロナ！ イノベーションのまちづくり



みらい創政 ● 赤祖父 ゆみ 議員

緊急時に備えての業務継続対策と市民、職員とのパイプ役の意味からも、副市長を置くことについて

問 各課の業務継続計画は作成されています。副市長は必要と思います。考えています。

答 デジタル化の推進と効率的な行政サービスについて

問 スマートフォンから公共施設の予約状況の確認や手続きができる公共施設予約システムの導入を進めます。

答 観光行政、魅力発信について

問 市内に点在する観光資源を結び、「エリア観光」の推進に取り組んでいきます。

答 「営業」という要素を取り入れ、企業や団体地域の皆さんと連携を密にします。

問 文化庁との連携強化を図る「文化振興」について

答 人事交流を通じて

国・県との連携強化を図り、文化、芸術の振興を図っていきます。

問 歳入をいかに増やしていくのか。企業との協働の考えについて

答 今、考え方を変える時。経営感覚を持ち、公共施設の有効利用については民間感覚も取り入れながら考えていきます。

問 生きる力の根っこを太くする湖南省教育の継続について

答 園については、公立・私立に関わらず、発達支援室の巡回相談員が定期的に訪問し、学級経営や園での活動についても保育士と一緒に考えています。今後も特別支援教育研修を継続して開催します。

問 生涯学習審議会設置について

答 従来の社会教育委員と位置づけており、生涯学習全般について自由に意見が言える委員会です。